

2025 年度 授業コード: 12106403

授業科目	＊専門演習Ⅱ(馬本)					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	3	開講時期	後期
担当教員	ブラウン馬本 鈴子						
授業概要	「専門演習Ⅱ」は、前学期開講の「専門演習Ⅰ」を引き継いだ科目である。このため、同一ゼミでさらに専門の学びを深めていく。加えて、次年度も継続指導が原則であるため、4年次の卒論作成を念頭に入れて専門性を高めていく。この科目を通して、以下の英語学科 DP の9項目に示す力を身につけていくことを目標とする。 1. 国際的視野・地域的視野での豊かな教養と幅広い知識を身につけることができる。 2. 英語に関する確かな知識と運用能力を身につけることができる。 3. 現代社会の諸問題について論じ、対応策を考えることができる。 4. 英米文化のみならず世界の文化に関心をもち、理解を深めるための意欲を身につけることができる。 5. グローバル社会の中で、他者と協働して良い環境を創り出すことができる。 6. 国際社会の一員として、積極的に責任ある役割を果たすことができる。 7. 国際社会・地域社会の発展に、各自の能力や知識を役立てることができる。 8. 他者と協働可能なコミュニケーション能力を身につけることができる。 9. 情報収集・情報処理能力を身につけることができる。						
授業形態	対面授業			授業方法	ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション		
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	1. 国際的視野・地域的視野での豊かな教養・幅広い知識を身につけることができる。 2. 英語に関する確かな知識と運用能力を身につけることができる。 3. 英米文化のみならず世界の文化に関心をもち、理解を深めるための意欲を身につけることができる。 4. 他者と協働可能なコミュニケーション能力を身につけることができる。 5. 情報収集・情報処理能力を身につけることができる。						
理想的レベル	1. 現代社会の諸問題について論じ、対応策を考えることができる。 2. グローバル社会の中で、他者と協働して良い環境を創り出すことができる。 3. 国際社会の一員として、積極的に責任ある役割を果たすことができる。 4. 国際社会・地域社会の発展に、各自の能力や知識を役立てることができる。						
評価方法・評価割合							
評価方法			評価割合(数値)			備考	
試験							
小テスト							
レポート			30				
発表(口頭、プレゼンテーション)			50				
レポート外の提出物							

